

令和7年度
優良公民館群馬県教育委員会表彰
表彰館事例集

群馬県教育委員会 生涯学習課

令和7年度 優良公民館群馬県教育委員会表彰 表彰館一覧

- ・前橋市桂萱公民館
- ・高崎市久留馬公民館
- ・東吾妻町岩島公民館
- ・板倉町東部公民館

前橋市桂萱公民館

施設情報

所在地：前橋市上泉町141-3

設置年月日：昭和42年3月31日

開館時間：9:00～22:00

運営主体：前橋市教育委員会生涯学習課

R6年度総来館者数：42,653人

特色ある事業（活動）

【少年教室】

◇参加対象：小学生・中学生

◇事業内容：家庭の状況による体験格差を埋めるべく、子供たちが主体的に学ぶ機会として、文化的で実践的な体験講座を開催。講座の内容は、絵画、書道、七宝焼(伝統工芸)、陶芸、プログラミング、料理(夏休みの食事作り)、心の健康(SOS教育、自殺防止)、サイエンスクリッキング(料理を通して科学を学ぶ)、囲碁と将棋。子供たちの興味や社会の変化に応じて毎年内容や方法を工夫し、改善を重ねている。

◇事業成果：様々な学校から多くの児童生徒が集まり、いつもと違う環境も楽しんで学習に取り組めた。講師を務める地域の大人や、自分達の少し先の未来の姿を想起させる高校生や大学生のボランティアとも交流を深めることができた。講座をきっかけに、受講生やその家族が、他の講座を受講したり、学習クラブの会員になるなど、新たな公民館利用者となる場合があり、利用者の増加に繋がった。



学習内容を深めるための取組

講座の講師は、当館で活動する自主学習グループや地域団体等を活用。講座の運営を補助するボランティアを募集し、地元の中高生・大学生・専門学校生の協力を得て、参加者同士の交流や学びの循環を促進。なお、プログラミング講座では、事前に小学校から児童個人配付のタブレット活用状況を聞き取り、講座内容に反映(学校との連携)、講師として、地域で活動するNPO法人を活用。

多様な利用者参加促進のための環境整備

申込方法は、窓口や電話、電子申請も活用することで多様な働き方をする保護者に対応。障害を持つ受講生は保護者とともに受け入れて対応(受講できるよう配慮)。社会的な関心が高い自殺防止に関する講座は、保護者の受講も可能とし、チラシに掲載することで学びの対象であることを広く周知。また、開催した講座の様子を公民館報を通じて周知することで、次回の講座への期待値を高めた。

自己点検・評価等の実施状況

各講座終了時に受講生に対しアンケートを実施し、適度な学習時間や講座への満足度、期待する内容等の需要を把握し、次の計画に活かしている。更に、年2回開催している公民館運営推進委員会で委員から出された意見を反映し、講座立案に取り組んでいる。住民の日常会話の中に講座名が出てくることから、需要と認知度は高いことがうかがうえる。変化が著しい社会の動向もふまえ、地域団体や学校、企業などともより連携を図っていきたい。

高崎市久留馬公民館

施設情報

所在地：高崎市高浜町2395

設置年月日：平成31年4月1日

開館時間：9:00～21:00

運営主体：高崎市教育委員会中央公民館

R6年度総来館者数：10,549人

特色ある事業（活動）

【地域の文化財マップを活用した一連の事業】

◇参加対象：地域住民、久留馬小学校児童

◇事業内容

開館5年目の令和5年に公民館運営推進委員会を中心に地域の文化財マップを作成。そのマップとともに、リアル（現実）とデジタル（仮想）のハイブリッド型学習に取り組んでいる。リアルでは、小学校の社会科の授業で、地域の講師と住民、児童が一緒に現地に赴き、説明を受けたり実物に触れたりし、世代を超えて学習と交流を深める「未来につなぐ歴史探訪～地域の宝を見に行こう～」を実施。デジタルでは、地域の大学生が歴史講師とともに、マップに掲載された文化財について高学年児童向けの解説動画を作成。小学生に1人1台配備されている端末でその動画を視聴できるようにし、かつ授業で活用してもらう「GIGAスクール端末で文化財巡り」を実施している。

◇事業成果

開館年度にコロナ禍になった当館にとってやっと実現した学校との連携事業。少子化の進む地域にとって地域の文化財への関心が薄れていることは地域課題の一つであり、コロナ禍による伝統芸能活動の休止はそれに一層の拍車をかけていた。「未来につなぐ歴史探訪」では、地域住民と児童が同じ体験を共有することで、交流と実物に触れるという質の高い学習を行うことができ、「GIGAスクール端末で文化財巡り」では、児童と年代の近い大学生が作る親しみやすい動画をいつでも端末から視聴できるようにすることで、児童と地域の文化財の距離を縮めることができた。



解説動画
(駒形神社編)



学習内容を深めるための取組

運営推進委員会や利用者等から地域のニーズを把握、また、学校とも緊密な連携を図り、地域と学校が互いに満足できるような学習機会を地域講師、大学生とともに企画立案している。

リアルとICT技術を用いたデジタルのそれぞれのメリットを生かしたハイブリッド型の取り組みとすることで、より効果的に学習できるようにしている。また、端末で動画を視聴できることにより、天候や交通事情に左右されることなく、授業時間以外でも好きなタイミングや自分のペースで繰り返し学習することができ、取りこぼされることなく学びを深めることができる。

多様な利用者参加促進のための環境整備

「未来につなぐ歴史探訪」では参加者の地域住民に協力をしてもらい児童の安全確保に努めている。大人も児童も一緒に地域講師の説明を聞き、デジタルでは叶わない本物に触れる体験を共有することで交流と学習を深めている。「GIGAスクール端末で文化財巡り」では、学びのきっかけづくりとして、まずは地域文化財への関心や愛着が芽吹くことを目標に、クイズや普段は入れない場所の映像を入れるなどして興味を惹くような動画を作成している。将来的には小学生の端末だけではなく、マップに二次元バーコードを加え動画を自由に視聴できるようにし、学校現場や家庭だけでなく、地域住民全体の学習材料とすることを目指している。

自己点検・評価等の実施状況

運営推進委員会で事業の評価や課題を説明し、意見をもらっている。参加者にアンケートを取り検証し、また、それをもとに実施報告を作り、地域住民にも確認してもらえるように一定期間館内に掲示している。

「GIGAスクール端末で文化財巡り」については、校長と担任教諭、公民館職員、大学生、講師での意見交換会を行い、授業での活用の様子を見せてもらうことも予定している。

東吾妻町 岩島公民館

☆施設情報

- 所在 地:群馬県吾妻郡東吾妻町大字岩下102番地
- 設置年月日:昭和63年6月1日
- 運営主体:東吾妻町教育委員会社会教育課
- 開館時間:8:30~21:00
- R6年度総来館者数:3730人



☆特色ある事業(活動)

【陶芸教室】

◇参加対象:子供から高齢者まで

◇事業内容

地域住民から、陶芸を学びたいという声があり、地域の特色を生かした講座として、講師を招いて陶芸教室を行っている。年間を通して全5回の講座であり、内容を工夫しながら毎年開講している。

初回に粘土から陶器を形成し、2~4回は焼成、5回目は、作品の展览や講義などを行っている。作品作りをとおして仲間と対話し、創造の喜びを味わうと共に、指先の運動や感性を養うことを目的としている。



◇事業成果

講師による丁寧な支援と粘土を使った扱いやすい題材により、誰でも参加でき、作品を完成させることができる。

本講座はR6年度には32年目を数え、年々参加者が増加し、新規参加やりピーターも多い。

☆学習内容を深めるための取組

- ・開講している講座を少人数での開催にすることにより、講師が一人一人に目を行き届きやすくし、実際に活動する時間や機会を増やしたり、難易度を調節したりすることができるようしている。
- ・講座を開設するにあたり、地域住民からの意見を取り入れ開講してほしいというニーズを把握することで、どの講座も参加者が達成感や満足感を味わえるようにしている。

☆多様な利用者参加促進のための環境整備

- ・陶芸教室は講座の開催日を休日にすることで、仕事をしている人や学生にも参加しやすくなるように開催日を設定している。全5回の講座だが、講座に参加できない場合でも、講師が代わりに焼成を行ったり郵送したりして無理なく参加できるようにしている。
- ・公民館広報紙「麻の里」を毎月発行し、地区内に回覧したり町のWebページに掲載したりして講座の内容や活動の様子の紹介、参加者募集などの情報を公開している。
- ・高齢者が多い地区のため、電話と来館しての申込みにすることで、ICTが苦手な高齢者にも参加しやすくしている。

☆自己点検・評価等の実施状況

- ・講座実施後に、受講者に対してアンケートをとり、講座の運営や内容について見直している。
- ・講座終了後の参加者の感想や意見を広報紙や町のWebページに掲載するなどして、アンケートを共有できるようにしている。
- ・アンケートをもとに、地域住民の要望に寄り添った講座を開設するように心がけている。

板倉町東部公民館

施設情報

所在地：群馬県邑楽郡板倉町朝日野1-26-1

設置年月日：平成元年3月25日

開館時間：9:00～21:00

運営主体：板倉町教育委員会

R6年度総来館者数：17,665人

特色ある事業（活動）

【公民館にあつまろう事業】

◇参加対象：町内の小中学生（全学年）

◇事業内容

町内小中学生の休校日や長期休暇を利用し、子供たちの学習や体験の場として、公民館を開放し、学習支援として学生及び教員等の協力のもと、学習及び体験学習を支援する。



◇事業成果

学習意欲の向上や他校間との交流が図られ、参加者や保護者からの満足度も高い事業となっている。

学習内容を深めるための取組

教員及び地域のかたを学習支援員として迎え、子供たちの長期休暇時等の学習及び体験教室を行うことで、児童や生徒の健全育成を図る。

多様な利用者参加促進のための環境整備

児童が、町内の他地区の児童と交流する良い機会であり、様々な体験教室の中で地域住民や講師のかたがたとも交流が生まれる。また、公民館や図書を利用するきっかけが図れる。

自己点検・評価等の実施状況

引き続き、自主学習における学習支援の充実を図り、児童や生徒の自主学習の場を確保する。また、体験教室においては、地域の住民や講師のかたとの交流が図れる内容や、地域のかたを講師として迎え、町への興味や理解・関心が図れる場となるような事業内容を継続し、地域の文化等を指導できる人材を発掘していく。